



相原地区 資源ごみ処理施設連絡会 「先進ごみ資源化施設見学」報告

視察日：平成25年11月29日（金）

■視察先

昭島市 環境コミュニケーションセンター

1. 視察概要



■視察日時 平成25年 11月29日（金） 13:30-15:00

■視察施設 ①昭島市
環境コミュニケーションセンター
（東京都昭島市美堀町3-8-1）



①昭島市環境
コミュニケーションセンター

昭島市
環境コミュニケーションセンター

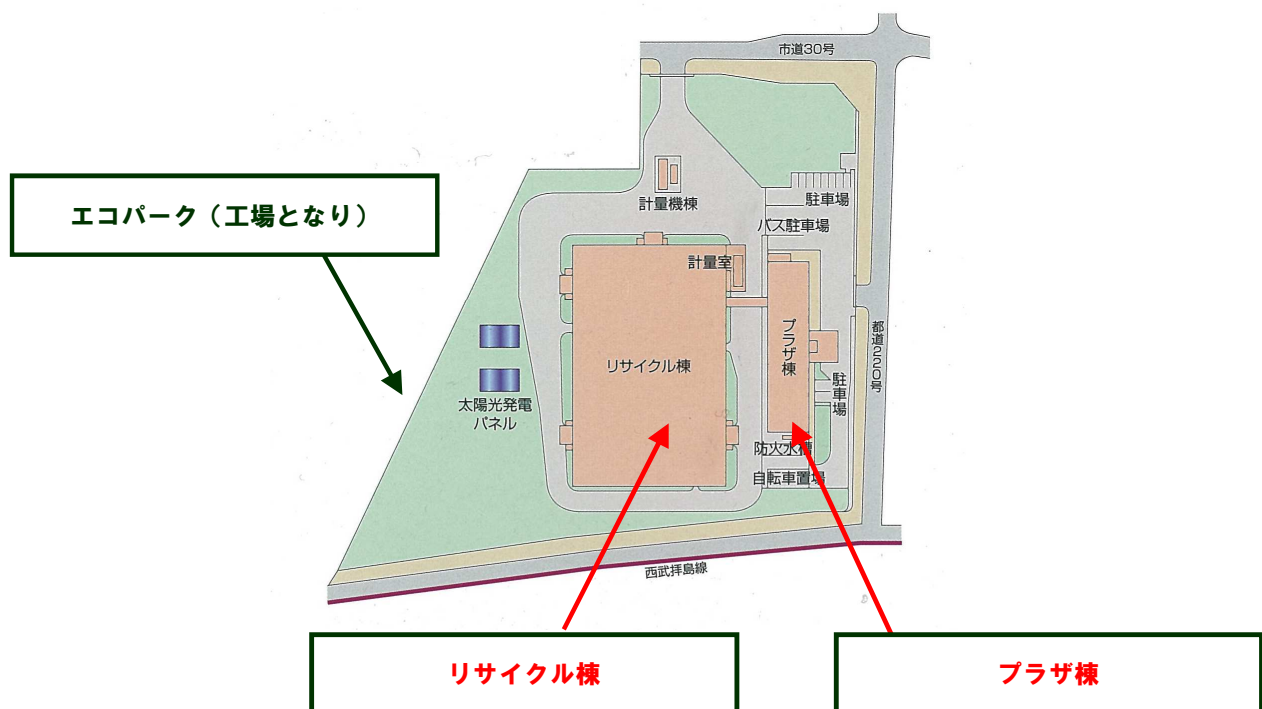


<昭島市環境コミュニケーションセンターの概要>

名称	昭島市環境コミュニケーションセンター
竣工	平成23年（2011年）
敷地面積	20,139.90㎡
構成施設	プラザ棟、リサイクル棟 付属棟、付属施設
不燃・粗大破碎選別	12.9 t/5h
プラスチック破碎選別	14.7 t/5h
資源選別	8.3 t/5h
合計	35.9 t/5h



<施設の図面>



2-2. 施設の特徴



○昭島市の燃えないごみの処理

年間3.2万トン発生する昭島市のごみのうち、燃えるごみ2.3万トンを除く約1万トンがこの施設で処理されている。

○国有地に建設した施設

横田基地南側の国有地の無償貸出を受けて、昭島市が建設した施設。施設内の樹木伐採等については厳格な届出が必要。

○横田基地に伴う高さの制限

北側に横田基地が近接していることから、航空関係の法律により、建物高さを低く抑えるよう指導されている。その分建築面積については大きくなっている。

○体験型の学習機能

環境学習・ごみ問題の学習ゾーンは、体験型のものとなり、お楽しみながら学べるようになっている。



4

2-3. 見学の様子



<各施設の機能の見学>

■プラットホームの見学の様子



■手選別室の様子



5

2-3. 見学の様子



■環境コミュニケーションルームの様子

体験型の学習設備が整っており、遊びながら環境問題・ごみ問題を学習できるようになっている。



■外部の様子

エコパークが隣接しており、緑豊かな環境となっている。屋外には太陽光パネルが設置されている。



6

2-4. 質疑応答



- 一日あたりの車両の出入・一日の処理量はどの程度か。
⇒平日一日あたりで延べ100台程度の出入がある。処理量は40t／日程度。
- 建設時に近隣住民との協議などはあったのか。
⇒大半が国有地であり、大きな問題はなかった。一部居住を続けていた住民の方へは、市から説明を行った。
- 臭い対策はどのようにしているのか。周辺とのトラブルは無いのか。
⇒建屋内での作業を原則とし、プラットホーム出入口は車両の出入時のみ開閉し、エアカーテンも設け、外部への漏出を防止している。
操業以来、周辺とのトラブルはない。
- この施設でプラスチック容器の洗浄は行っているのか。
⇒この施設では洗浄は行っていない。ごみを出す際に軽く雪ぐように市民にお願いしている。本施設では、圧縮のみ行っている。その他床の洗浄等には水を使用している。

7